



環境報告書 2009

天野エンザイム株式会社

2009.8 発行

本報告書はリサイクル PPC 用紙を使用しています。

I. 環境方針

1. 私たちは、環境に関する法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
2. 私たちは、酵素の設計・開発、製造及び販売活動において、業務の効率化を図り、省エネルギー、廃棄物の削減及び再資源化、排水水質の改善に努めます。
3. 私たちは、環境方針達成のため環境目的・目標を設定し、環境保全活動を計画的に実施し内容を定期的にレビューするとともに、環境管理システムの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
4. 私たちは、環境への意識高揚のため、全従業員及び関連する人々に環境方針を周知します。
5. 私たちは、地域社会との協調、融和に努めコミュニケーションを図り、この環境方針を一般の人々が入手可能とします。

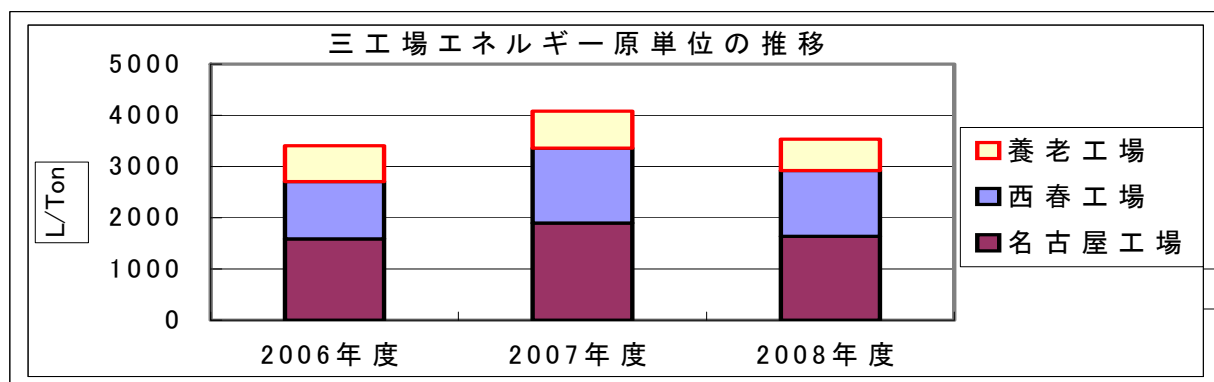
2009年4月1日

天野エンザイム株式会社 天野 源之

Ⅱ. 2008 年度 事業所内外の活動について

2008 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・全事業所 第 61 期(2008 年度)環境目的・目標を策定し、環境活動を開始した。 ・全事業所 2007 年度法規制順守評価を実施、法令違反はなかった。
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・全事業所 環境影響評価、環境影響登録簿の見直し及び改訂を実施した。 ・岐阜研究所 平成 19 年度環境配慮事業所実施状況報告書を岐阜振興局に提出した ・北名古屋市「ごみゼロ運動」は雨天中止。(代替工場周辺美化運動 69 名参加) ・大垣市との公害防止協定を締結した。(養老工場)
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・全事業所 第 60 期(2007 年度) EMS 活動報告を EMS 委員会で発表した。 ・平成 19 年度 産業廃棄物処理報告書・計画書、特別管理産業廃棄物実績報告書、県外産業廃棄物搬入状況報告書等を官庁へ提出した。 ・古紙(コピー用紙、雑古紙類)のリサイクル回収(第 15 回)を実施した。
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・内部環境監査を実施した。【第 60 期指摘事項是正の継続性、運用手順逸脱予想結果の環境影響、フロン排出の有無、特別管理産業廃棄物処理委託時に廃棄物データシート(WDS)による情報提供の有無等を中心に監査を行った。】 ・地域環境活動の一環として各務原市民清掃に参加した。(11 名参加)
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・全事業所対象に省エネルギー提案キャンペーン(8 月)を実施した。 ・環境情報伝達手順書の見直し・改訂を行った。 ・事故、緊急事態対応模擬訓練を実施し、手順書の有効性を確認した。 ・西春工場 地域住民への環境配慮対策としてボイラー用消音煙突設置工事を実施。
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー提案キャンペーン期間中の省エネ提案は 139 件で、約 1,384 万円の経済効果が得られた。(今後も省エネ活動は継続して行く) ・岐阜研究所及び三工場は毒物、劇物の使用量調査と管理点検を実施した。
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・全事業所 2008 年度上半期環境マネジメントプログラム実績報告書を作成した。 ・全事業所 2008 年度上半期 法規制順守評価を実施、法令違反はなかった。
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 (JIS Q14001:2004) 第 3 回更新審査を受審した。〔日本化学キー・エィ(株)〕審査結果及びアドバイス内容について、全事業所で水平展開した。 ・地域環境活動の一環として各務原市民清掃に参加した。(12 名参加) ・第 3 回各務原市都市景観賞を受賞。(岐阜研究所)
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 更新審査の結果、12/24 J C Q A 登録委員会で適合した。 ・冬季の省エネルギー対策として、各事業所「職場、家庭での省エネルギー活動の推進」を呼び掛けた。
2009 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・天野エンザイム株式会社 第 62 期(2009 年度)環境目的・目標を策定した。 ・名古屋工場 臭気対策として、廃水処理用ヨウ素添着炭脱臭塔を設置した。
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・全事業所 第 62 期(2009 年度)環境目的・目標、実施計画(EMP)を策定した。 ・西春工場 地域住民への環境配慮対策として防音壁の設置を施工した。 ・古紙(コピー用紙、雑古紙類)のリサイクル回収(第 16 回)を実施した。
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜研究所及び三工場は毒物、劇物の使用量調査と管理点検を実施した。 ・岐阜研究所及び三工場は第 1 種指定化学物質の使用量調査と管理点検を実施した。
<p>その他 全事業所の主な活動(事業所:本社、岐阜研究所、名古屋工場、西春工場、養老工場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域環境美化活動として工場、岐阜研究所、本社周辺道路、側溝の美化活動を実施した。(1 回/月) ・工場内の環境パトロール、臭気パトロールを実施した。 ・地域利害関係者との外部コミュニケーション:①養老工場は、地元への会社状況説明会を開催 ②名古屋工場は、産業廃棄物排出計画の事前連絡の実施 ③各工場は、工事等における臭気、騒音発生の事前連絡を実施 ・学校行事の資源回収に古新聞、不要書籍などの紙資源の寄付に協力した。(岐阜研究所) 	

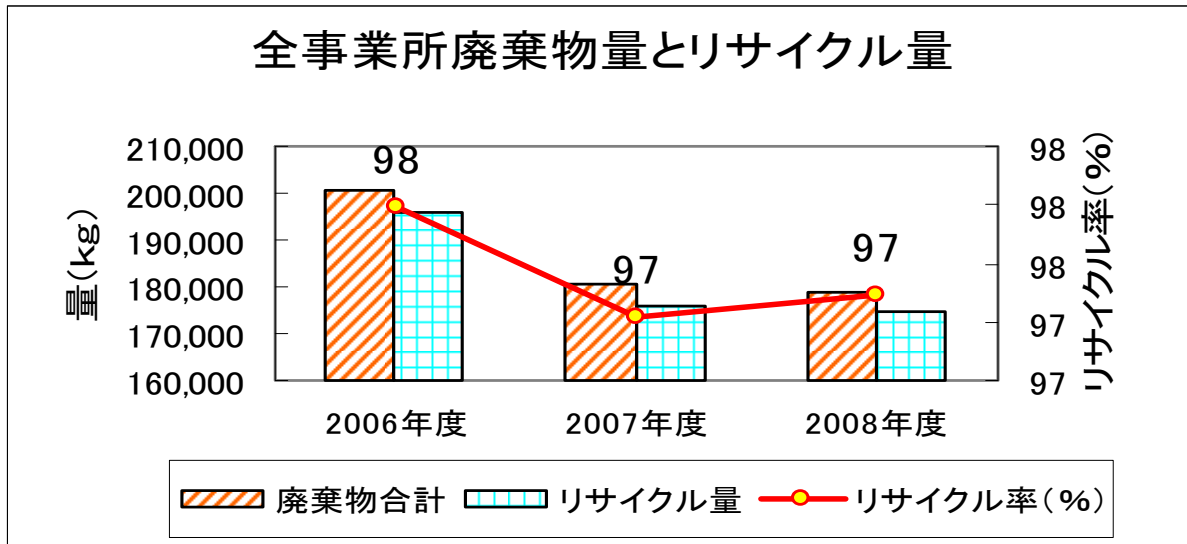
Ⅲ. エネルギー原単位について



三工場	(単位: L/t)		
	2006年	2007年	2008年
電気	417	483	389
ガス・重油	605	626	594
計	1,022	1,109	983
2006年度対比	100%	108%	96%

* 天野エンザイムの原単位とは
原単位＝電気又はガス・重油の原油換算量 (L)
／仕込量 (ト)

Ⅳ. 廃棄物量とリサイクル状況



全事業所廃棄物量の推移

(単位: kg)

全事業所 (合計)	2006年度			2007年度			2008年度		
	廃棄物量	リサイクル量	リサイクル率	廃棄物量	リサイクル量	リサイクル率	廃棄物量	リサイクル量	リサイクル率
	200,300	195,915	98	180,815	176,138	97	178,979	174,498	97
2006年度比	100%	100%		90%	90%		89%	89%	

V. 事業所の排水について

2008年度三工場（名古屋工場、西春工場、養老工場）の排水結果

	排出量	単位	
放流水	1,319.9	千m ³ /年	1. 放流水とは、特定排水に間接冷却水を加えて、工場より公共用水域（河川等）に排出される水
特定排水	808.2	千m ³ /年	2. 特定排水とは、廃水処理場にて処理した水
特排COD負荷量	18.0	t/年	3. 特排COD負荷量とは、公共用水域に排出されたCOD量
特排T-N負荷量	6.9	t/年	4. 特排T-N負荷量とは、公共用水域に排出された窒素量
特排T-P負荷量	1.0	t/年	5. 特排T-P負荷量とは、公共用水域に排出されたりん量

VI. 環境会計について

環境経営を推進するにあたって、過去3年間全事業所の環境施策に係る投資費用及び環境保全費は下記の通りです。

（2003年度より、環境会計を導入しました。）

2006年度～2008年度 環境会計 報告書				
環境大分類名	環境小分類名	2006年度 税抜金額(千円)	2007年度 税抜金額(千円)	2008年度 税抜金額(千円)
1	公害防止	129,449	109,066	112,161
2	地球環境保全	35	188	64
3	資源循環	275,359	230,176	258,347
4	環境管理	43,006	60,400	66,584
5	その他	2,364	2,349	1,632
合計		450,213	402,179	438,788